

ケタル後今回手當半減ヲ取消ナレ度ト申出タルニ對
シ小松原部長ハ今回整理ハ過般ノ震災ニ依ル會社
ノ損害ト海運界ノ况ニ因ル事業不振トニテリ經費
節約ノ必要上巴ナクモムタルモノニレテ單リ海負ノミナラス
社長以下全部ニ對シテ問題ナルヲ以テ今更船負一部ヲ不
平アリトシテ之ヲ取消スル如キト絶對ニ不可能ナリト各
ハタルニ然ラハ一時ニ出減スルコトナク徐々ニ減額セシテハ如何
ト會社側ニ其ノ協議歩ヲ迫リテ是レ應セラレズ會談約三
時頃ニ及ヒテ終ル

茲テ十月廿午前十時再ヒ本社ニ於テ小松原部長ト
自見レ此ノ際會社側ニ於テ元事端ヲ未然ニ防ク
意味ニ於テ田海解決ノ方法ニ出テラレ度レト懇談大
イニ努ムル所アリレニ會社ハ再考ハ上明ニ日何分ノ回答
ヲ為スヘト答ヘ午後四時自見ヲ終レリ
二日午前十時決田ハ前日ノ回答ヲ得ヘテ會社ニ出頭シ
小松原部長ト自見レタルニ同部長ハ手當半減ノ理
由ニ付テハ最ニ説明シタル通り震災ニ因ル損失ト一般

海運界不況ニ因ル會社事業不振事依リ也云々
ニ出テタルモノナリ以テ今次之ヲ撤回スル減額率ヲ低下
スルカ如キトト絶對ニ認容スル能ハズ會社ノ經濟困難
係ヲ顧慮セズ唯ニ自己ノ利益トシテ是レ理由如何
ヲ確メテ輕率ニ妥協シテ會社ヲ非難攻撃スルカ如キ
者ハ此際斷然シテ各出スルべき答タルニ海負ノ勤務ハ
陸負ノ其レ比レ自ラ果シテモ之ヲ以テ目下調査中ニ俾ル
海負對陸負以テ金支給規定ノ改正ニ付テ海負ニ對シ
有利ノ方法ヲ講スル考ヘナリ即チ各月才皆改正ニ表
シタル社會ノ勤統慰勞金支給規定ニ社會海負ヲ同
ニス從來ノ三年勤續ヲ五年勤縮ニ同時ニ
社會海負最高支給金額ヲ低キルニテ海負ニ對シ
テハ依然トシテ其ノ支給金額ヲ從來同様三十五年
勤續ニ依リテ受ケタル最額三千六百圓中間二千六
百圓最低千五百圓ヲ其ノ俸支給スル様改正スルヲ以テ
海負ノ手當半減ハ此際隱忍スヘト述ヘシレ決田
モ亦之ヲ諒トシ早速阪神上ニ圖願未ヲ説示シテ之ヲ以テ

ト